

「内部に充実部分を有する卵巣嚢腫合併妊娠における、超音波検査による診断精度に関する後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

西暦 2011 年 1 月 1 日～西暦 2020 年 12 月 31 日の期間の分娩予定日であった、埼玉医科大学総合医療センターを受診し、卵巣嚢腫合併妊娠と診断され、超音波外来にて超音波検査を実施し、その後当院で卵巣嚢腫に対する手術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

卵巣嚢腫合併妊娠において、その卵巣嚢腫のほとんどは良性嚢腫ですが、まれに悪性嚢腫も存在します。卵巣嚢腫の組織型や性状(良性か悪性か)の確定診断は唯一外科的処置によって得られるため、妊娠中の手術が必要かどうかについての判断には、慎重な検討を要します。妊娠中に手術を受けることは少なからず妊婦様の精神的負担になるため、可能な限り不要な手術を回避することができるようになるべく、超音波による診断精度を向上させることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～西暦 2024 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容・取得方法

診療録より以下の情報を抽出します。

母体情報(年齢、経妊経産、妊娠前からの診断の有無、超音波専門医・指導医による超音波検査施行時の妊娠週数、など)、超音波検査所見(大きさ、充実性部分の有無、充実性部分における血流の有無、color score、ドップラー法による血流量や抵抗値、エコーパターン分類、など)、嚢腫マーカー値、手術情報(手術を行った時期、病理組織検査所見、など)

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である牧野佑子が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

研究責任者：牧野佑子(総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 助教)

研究実施者：

菊池昭彦（総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 教授）
高井 泰（総合医療センター 産婦人科 教授）
齋藤正博（総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 教授）
長井智則（総合医療センター 産婦人科 教授）
矢部慎一郎（総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 講師）
江良澄子（総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 講師）
馬場一憲（総合医療センター 産婦人科 客員教授）
中村永信（総合医療センター 産婦人科 非常勤医師）

3. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター

担当：総合周産期母子医療センター母体胎児部門 助教

牧野佑子

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL：049-228-3681（医局） （平日9時～16時）

○研究課題名：内部に充実部分を有する卵巣嚢腫合併妊娠における、超音波検査による診断精度に関する後方視的研究

○研究責任者：総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 牧野佑子